

「教育のまち 別府」を目指して Aiming to be “The City of Education-Beppu”

平成30年度 教育目標 ふるさと別府に学び、未来を創る人づくりの推進

Promotion of Individuals Who Learn from Our Hometown of Beppu and Create Our Future

別府市では、ふるさと別府に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会に対応し、多様な人々と協働しながら主体的に問題をよりよく解決し、自立して生きていく人づくりを推進しています。

平成30年度 12の重要施策

内 容	目 標 ・ 指 標
○確かな学力の定着に向け、各種学力調査結果を活用して授業改善・補充学習・家庭学習をより一層推進するとともに、その検証・改善を年間2回実施します。	全国学力・学習状況調査全項目において全国平均正答率以上
○体力向上のため、体力テスト結果や児童生徒の実態に基づいた授業改善・日常的な運動の場設定をより一層推進するとともに、その検証・改善を年間2回以上実施します。	全国体力・運動能力調査における総合評価C以上の児童生徒の割合が全国平均以上
○子どものむし歯ゼロに向け、むし歯予防の3本柱（歯磨き指導・食育・フッ化物洗口）の取組を進めます。	12歳児一人平均のむし歯本数1.02本以下
○平成28年度熊本地震を教訓として、火山対策を含む防災教育（避難訓練、防災体験学習等）の充実に取り組みます。	全小中学校において年間2回以上実施
○いじめ・不登校の解消に向けて、学校いじめ対策組織による会議（校内いじめ防止等対策委員会）を年3回以上、不登校対策委員会を月1回以上開催します。	いじめ：解消率100% 不登校：全国平均出現率以下
○コミュニティ・スクール中学校区連絡会を年間2回開催します。	中学校区内共通の取組を実施した学校100%
○別府市の子どもたちが郷土について学ぶ「別府学」を、全小中学校において完全実施します。また、取組について情報発信します。	全小中学校各学年において、年間5時間実施。また、統一公開月間等で授業公開し、その取組の様子を学校HPに掲載。
○食育の大切さを伝えるとともに、別府オリジナルレシピを考案した学校給食を導入し、子どもたちの地域への関心や愛着を深めていきます。	学期に1回以上実施
○共同調理場の建て替えに向け、準備を進めます。	用地の選定・施設規模等の課題整理
○山の手・浜脇統合中学校（仮称）開校に向け、開校準備協議会を開催します。	校名候補や制服、体操服等の取扱決定
○図書館・美術館の一体的整備に関する基本構想をより具体化した基本計画策定に向けて、調査研究を進めます。	建設候補地、施設規模、建設費用等のガイドライン作成
○別府を冠とした少年スポーツ大会の開催競技増加に向け、競技団体との協議・調整・支援に取り組みます。	開催競技数2競技以上、参加者数500人以上

地域とともにある学校づくり

心豊かな子どもを育む地域づくり

コミュニティ・スクール(学校運営協議会)の推進

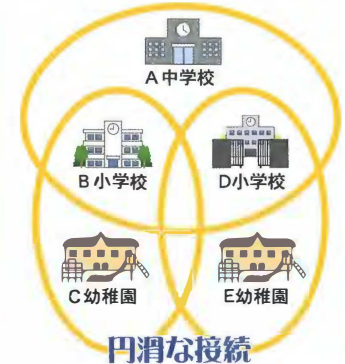
学校と保護者や地域の皆さんが、当事者として子どもの教育に対する課題から目標を設定し、それぞれが主体的に目標達成に向かって協働できる体制づくりを目指しています。各中学校区では中学校区連絡会を開催しています。

- 【全市統一の重点目標】
- 「質の高いよりよい学校教育の実現」
 - 「家庭・地域の教育力の活用」
 - 「コミュニティづくりに寄与」

幼小中連携教育の強化

市内全中学校区において、幼稚園・小中学校の滑らかな接続に向けた校種間連携を強化していきます。

- ・幼稚園から小学校への接続を図るための保育課程（アプローチカリキュラム）、教育課程（スタートカリキュラム）を実施し、改善します。
- ・各中学校区で取り決めた小中共同実践（学習面・生活面）や交流活動等を確実に実施し、検証します。



学校・家庭・地域の協働